

【分配金のお知らせ】

2016年12月7日  
野村アセットマネジメント株式会社

**「野村グローバルボンド投信(通貨選択型)」「毎月分配型」の  
2016年12月6日決算の分配金について**

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「野村グローバルボンド投信(通貨選択型)」「毎月分配型」(以下、ファンドといいます。 )の2016年12月6日決算の分配金についてご案内いたします。

今回の決算におきまして、「米ドル売り選定通貨買い」における選定通貨の動向と、それに伴う基準価額の下落傾向等を総合的に勘案し、「Fコース(米ドル売り選定通貨買い 毎月分配型)」の分配金を70円から50円に引き下げることといたしました。

なお、その他のコースにつきましては、前回決算の分配金額から変更ありません。

「Fコース」の分配金引き下げに関する詳細な説明と今後の見通しについては、次ページ以降をご参照ください。分配金額と基準価額は下表の通りです。

**【分配金】**(1万口当たり、課税前)

| ファンド                       | Cコース<br>(米ドル売り円買い<br>毎月分配型) | Dコース<br>(為替ヘッジなし<br>毎月分配型)  | Fコース<br>(米ドル売り選定通貨買い<br>毎月分配型) |
|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|--------------------------------|
| 分配金額<br>(前回決算)             | <b>10円</b><br>(10円)         | <b>10円</b><br>(10円)         | <b>50円</b><br>(70円)            |
| 決算日の基準価額                   | <b>9,807円</b>               | <b>11,047円</b>              | <b>7,562円</b>                  |
| 決算日の基準価額(分配金再投資)<br>(前回決算) | <b>10,084円</b><br>(10,024円) | <b>11,325円</b><br>(10,205円) | <b>9,411円</b><br>(8,946円)      |
| 分配金額設定来累計                  | <b>270円</b>                 | <b>270円</b>                 | <b>1,870円</b>                  |

\*設定日:2014年8月11日      \*前回決算:2016年11月7日  
\*基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したもとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

——— 上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 ———

**【「毎月分配型」の分配の方針】**

原則、毎月6日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として、利子・配当等収益等を中心に分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合があります。

なお、市況動向や基準価額水準等によっては、分配金額が大きく変動する場合があります。

分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

「Fコース(米ドル売り選定通貨買い 毎月分配型)」分配金引き下げの背景

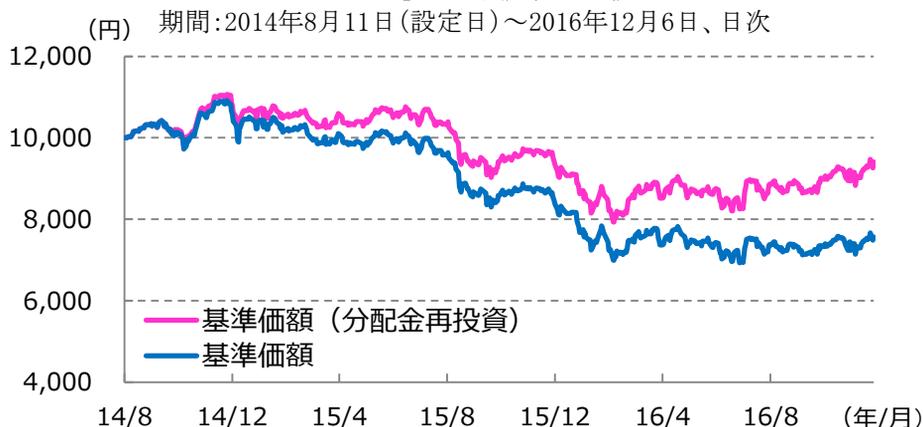
今回の決算では、「Fコース(米ドル売り選定通貨買い 毎月分配型)」の分配金を前回決算時の70円から50円に引き下げました。

基準価額は、設定当初、概ね安定的に推移しましたが、2015年6月頃から下落基調となり、2016年12月6日現在、7,562円となりました。設定来の騰落率は-24.4%、分配金を加味した基準価額(分配金再投資)の同期間における騰落率は-5.9%となりました。

2015年半ば以降、「Fコース」が下落基調となった主な要因としては、ギリシャの債務問題や中国の景気減速懸念等を背景にハイ・イールド債とバンクローンが2016年初め頃まで軟調に推移したこと、また、米国の利上げ懸念や原油価格の下落等を背景に「米ドル売り選定通貨買い」における選定通貨の為替レート(対円)の下落基調が続いたことが挙げられます。2016年2月にハイ・イールド債とバンクローンが上昇に転じたことで、基準価額の下落基調には歯止めがかかったものの、足元では8,000円を下回る水準で推移しています。

上記で述べた各資産や選定通貨の動向と、それに伴う基準価額水準および基準価額に対する分配金額などを総合的に勘案し、「Fコース」の分配金を引き下げることにいたしました。

<「Fコース」の基準価額の推移>



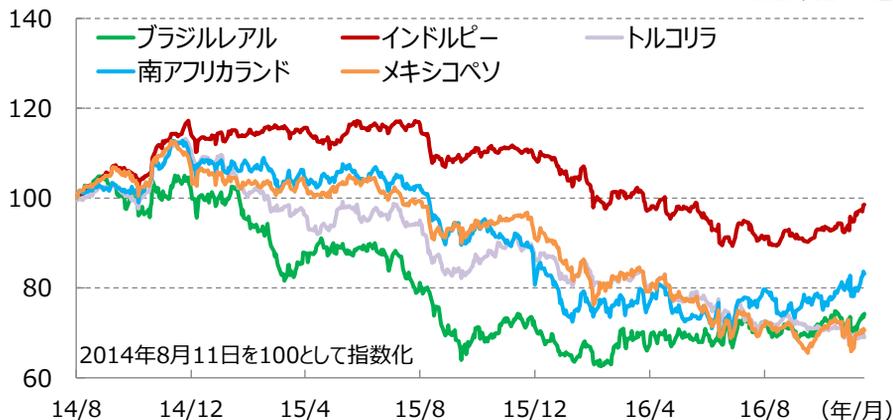
基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したもとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

—— 上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 ——

<選定通貨\*の為替レート(対円)の推移>

期間:2014年8月11日~2016年11月25日、日次

※2016年11月の選定通貨を示しています。



(出所)ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

—— 上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。 ——  
 また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものとあり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

## 投資環境

## (1)ハイ・イールド債市場とバンクローン市場について

## ▶ ファンド設定時～2015年5月

ECB(欧州中央銀行)が国債購入を含む追加金融緩和策を開始したことや、中国人民銀行(中央銀行)が追加金融緩和を実施する姿勢を強めたことなどから、概ね堅調に推移しました。

## ▶ 2015年5月～2016年2月

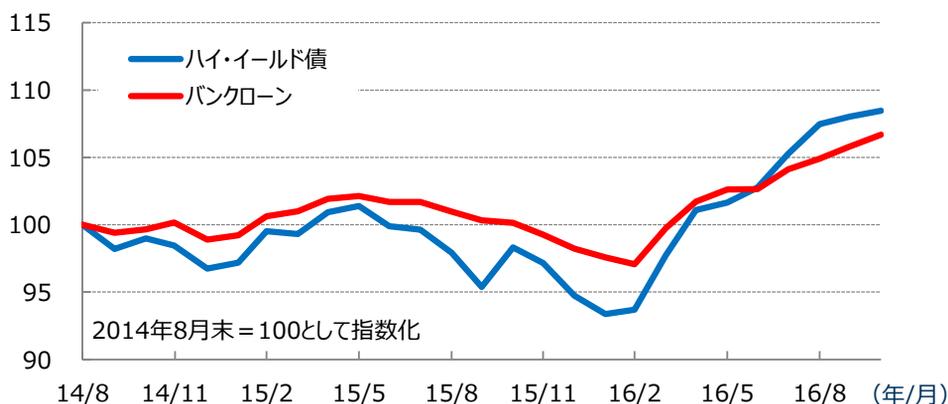
ギリシャの債務問題に対する先行き懸念が高まったことや、中国株式市場の急落および人民元安によって中国の景気減速懸念が高まったことなどを背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まり、軟調に推移しました。

## ▶ 2016年2月以降

米国の経済成長に対する楽観的な見方が広がったこと、FOMC(米連邦公開市場委員会)において今後の利上げが緩やかなペースになるとの観測が市場で強まったこと、原油価格が反発したことなどから、上昇しました。

## ＜ハイ・イールド債(現地通貨ベース)とバンクローン(米ドルベース)の指数の推移＞

期間:2014年8月末～2016年10月末、月次



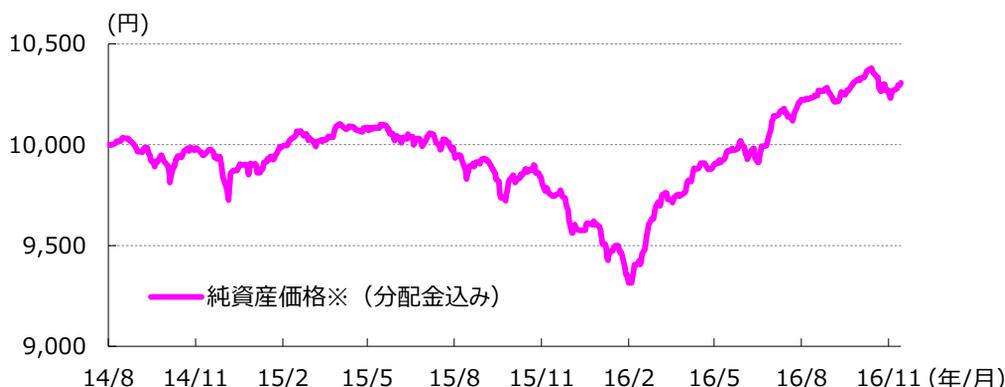
ハイ・イールド債: BofA・スリルリチ・グローバル・ハイ・イールド・コンストレインド・インデックス  
バンクローン: S&P/LSTAレバレッジド・ローン・インデックス

(出所)ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## ＜ご参考:ファンドが投資対象とする外国投資信託のパフォーマンスの推移＞

期間:2014年8月12日(当該外国投資信託の設定日)～2016年11月25日、日次



※ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンド・グローバル・ボンド(ケイマン諸島籍円建外国投資信託)の「JPYクラス」の1口当たりの純資産価格を使用しています。「JPYクラス」では、原則として純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同程度程度の米ドル売り円買いの為替取引を行いません。純資産価格(分配金込み)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額です。また、換金時の費用、税金等は考慮していません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

## (2)「米ドル売り選定通貨買い」における選定通貨について(2016年11月25日現在)

米国では2014年10月にFRB(米連邦準備制度理事会)が資産購入プログラムを終了し、その後も雇用などの経済指標に緩やかな改善が見られたことを背景として、FRBは2015年12月に利上げに踏み切りました。しかし、2016年6月に英国で行なわれた国民投票において、EU(欧州連合)からの離脱に対する支持が過半数を超えたことで、グローバルにリスク回避的な動きが広がり、米国の利上げ期待が後退し、日欧の金融緩和の長期化が意識されました。

先進国の長期金利が低位に抑制される中で、新興国市場への資金流入が促され、2016年以降は新興国通貨は対米ドルで概ね堅調に推移しました。しかしながら、2016年11月の米大統領選において共和党候補のトランプ氏が勝利すると、米国の財政拡張、保護貿易化への思惑から米長期金利は急騰し、新興国通貨は対米ドルで反落しました。

また、日銀がマイナス金利の導入を決定した2016年1月以降は、マイナス金利の効果への懐疑的な見方が優勢となったことを背景に円が上昇基調で推移したことから、選定通貨は対円では概ね下落傾向で推移しました。

### ●インドルピー

インドは、下落基調にあった原油価格により経常赤字の減少やインフレ率の低下など、ファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)の改善が見られました。また、2016年8月には長年にわたり政治問題となっていた物品・サービス税(GST)法案をインド上院が可決したことが好感された他、インフレ率が安定的に推移する中で、2016年9月に就任したパテル新中央銀行総裁が利下げを実施し景気に配慮する姿勢を見せたことなども通貨を下支えしました。一方で、パキスタンと領有権を争っているカシミール地方において、インド軍がパキスタンの軍事勢力に攻撃を行なうなど、地政学的リスクが高まったことが嫌気され、インドルピーは対円で下落基調で推移しました。

### ●メキシコペソ

メキシコは、原油価格の下落が同国経済や財政の下押し圧力になると懸念されました。また、2016年11月に行なわれた米大統領選において、メキシコに敵対的な姿勢を示しているトランプ候補が勝利したことで、メキシコペソは軟調に推移しました。通貨の下落を受けてメキシコ中央銀行は政策金利の引き上げや為替介入などを通して通貨を下支えする対策を打ち出したものの、メキシコペソは対円で下落基調で推移しました。

### ●トルコリラ

トルコでは、イスラム国やクルド労働者党(PKK)との対立から国内での治安情勢や周辺地域情勢が悪化するなど地政学リスクの高まりが懸念されました。また、大統領の権限強化を柱とする憲法改正案の推進、2016年7月に起きたクーデター未遂事件後の大規模な粛清やメディア統制、死刑制度の復活案などにより西欧諸国との関係に亀裂が入っていることが懸念され、トルコリラの下押し圧力となりました。

### ●ブラジルリアル

ブラジルは、2015年末にかけて景気減速や財政赤字拡大への懸念から通貨が軟調に推移しました。一方で、2016年初以降ルセフ前大統領の弾劾プロセスが進展し、同年8月に上院で行なわれた罷免投票によりルセフ前大統領が失職しました。テメル新政権が財政再建と経済改革に意欲的な姿勢を示したことが好感され、政府支出の伸び率を前年のインフレ率以下に抑える歳出上限法案が下院で可決されるなど、政策遂行能力に期待が集まっています。同国の経常収支が改善するなど一部の経済指標も底打ちを示しつつあり、ブラジルリアルは足元では対円で底堅い推移となっています。

### ●南アフリカランド

南アフリカは、労働争議の頻発や慢性的な電力不足を背景とした経済活動の低迷が見られました。また、2015年12月にはズマ大統領が二度にわたり財務相を交代させたことで、大統領による強権的な政治運営が懸念されました。景気の低迷や政治リスクが意識され南アフリカランドは軟調に推移したものの、主要産品である金・プラチナなどの資源価格の反発により対外収支が改善傾向であることなどが好感され、足元では対円で底堅い推移となっています。

## 今後の見通しと運用方針

(1)ハイ・イールド債市場とバンクローン市場について

米国において、トランプ氏が次期大統領に選出され、共和党が上下院の多数派を占めたことから、インフラ投資や減税など新政権下での経済政策に市場の期待が高まっていますが、その実現には不確実性もあります。また、FRBによる年内の利上げ観測が高まっており、世界経済の先行きなどについて、慎重な見方も必要と考えられます。一方で、世界経済の先行き不透明感に対応し、日銀など世界の中央銀行が緩和的な金融政策を維持することで経済を下支えしていることや、中長期的には米国経済の底堅い成長が見込まれていることなどは、ハイ・イールド債市場にとってプラス材料であると考えます。

バンクローン市場に関しても、企業の弁済順位の高さと、変動金利という性質から、金利上昇時や経済の先行きが不透明な際にも、底堅く推移すると考えます。

ファンドは、ハイ・イールド債を含む世界の債券\*およびバンクローン(米ドル建ての企業向け貸付債権)を実質的な主要投資対象とし、高水準のインカムゲイン(利子収入)の確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目指します。

\* 国債、政府機関債、国際機関債、社債など。ハイ・イールド債のほか、新興国の政府、政府機関もしくは企業の発行する債券(現地通貨建てを含みます。)等を含みます。

(2)「米ドル売り選定通貨買い」における選定通貨について

トランプ次期大統領が掲げる保護主義的な政策が新興国経済に悪影響を与える可能性が懸念され、同大統領の政策の不透明感が高まり、経済の不確実性が強まる中では、新興国市場への資金流入は一時的に減速する可能性を警戒しています。こうした投資環境の中で、ファンダメンタルズが健全であるにも関わらず通貨が割安な水準となっている国や、経済状況や政治状況に改善が見られる国の通貨は相対的に底堅く推移すると想定しています。

こうした状況を踏まえ、選定通貨について、商品価格の変動や先進国の金融政策の変更など外部環境の急変に備え、引き続きファンダメンタルズを意識した運用を行なってまいります。

## ●インドルピー

インフレ率の低下や経常赤字の減少、外貨準備の積み増しなど同国のファンダメンタルズの改善が見込まれています。通貨の下落リスクは限定的であると考えている一方で、新興国通貨高の局面では緩やかな上昇にとどまると考えているほか、パテル中銀新総裁の金融政策運営を注視しています。

## ●メキシコペソ

実効為替レートが割安な水準にあること、政府の構造改革へのコミットメントや通貨安から波及するインフレ期待抑制を意識した金融政策や為替介入による通貨下支えの方針を示している点を評価しています。一方で、メキシコにとって不利益となるトランプ次期米大統領が掲げる政策の実行性や原油価格の値動きを注視しています。

## ●トルコリラ

エネルギーの大部分を輸入に頼る同国にとって、低水準の原油価格が経常赤字の縮小をもたらすなど一部の経済指標が改善を見せています。一方、クーデター未遂事件の実体経済への波及、国内の治安情勢や周辺地域情勢の悪化などに注意しています。

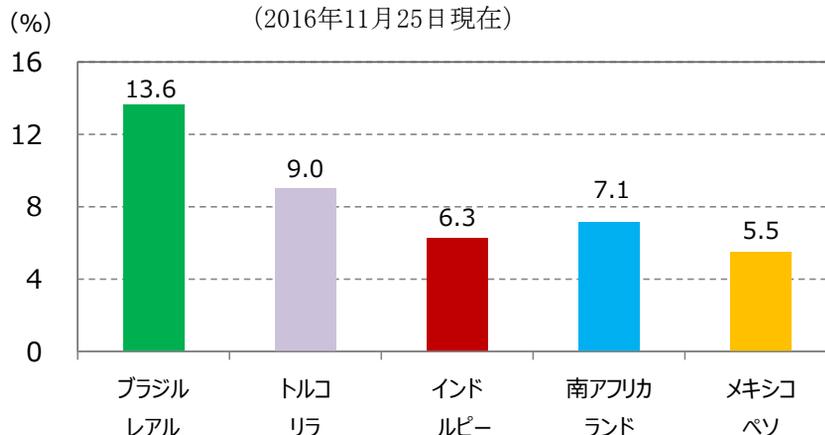
## ●ブラジルレアル

財政再建の遅れ、景気の低迷、インフレの高止まりなど依然として多くの問題を抱えている一方、経常赤字の縮小が見られるなど対外脆弱性が改善傾向である点を評価しています。足元ではルセフ前大統領の失職が決定し、テメル新政権が財政健全化を推し進められるか否かに注目が集まっており、状況を注視しています。

## ●南アフリカランド

インフレ圧力を抑制するため、中銀が金融引き締め姿勢を継続している点や、資源価格の反発により対外収支が改善を示しつつある点を評価しています。一方、電力の供給不足が成長の下押し圧力となる点や政治的な混乱を注視しています。

<(ご参考)選定通貨の短期金利>  
(2016年11月25日現在)



選定通貨の短期金利は現地通貨ベース、課税前。

ブラジルレアル：国債1ヵ月、トルコリラ：インターバンク・オファー・レート1ヵ月、インドルピー：インターバンク・オファー・レート1ヵ月

南アフリカランド：ヨハネスブルグ・インターバンク・アグリド・レート1ヵ月、メキシコペソ：T-Bill1ヵ月

(出所)ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

今後とも「野村グローバルボンド投信(通貨選択型)」をご愛顧賜りますようお願いいたします。

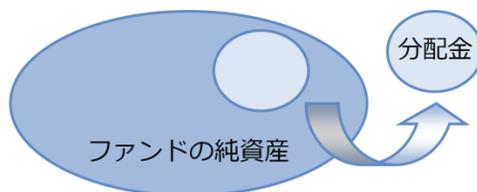
以上

## 【当資料で使用したデータについて】

●BofA・メリルリンチ・グローバル・ハイ・イールド・コンストレインド・インデックス(BofA Merrill Lynch Global High Yield Constrained Index)は、バンクオブアメリカ・メリルリンチが算出する、グローバル・ハイ・イールド債のパフォーマンスを表す代表的な指数です。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はバンクオブアメリカ・メリルリンチに帰属しております。

## 分配金に関する留意点

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。



- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

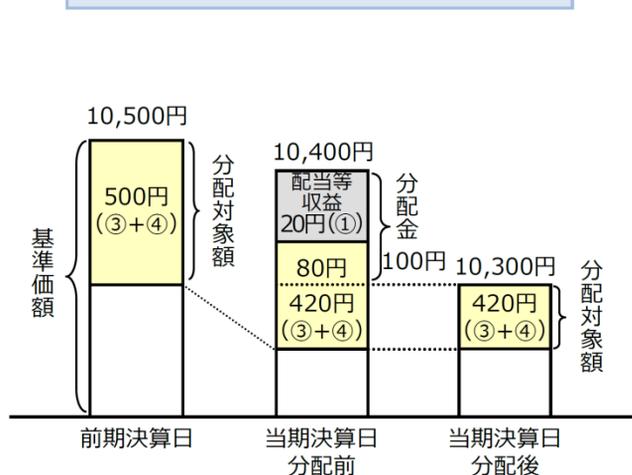
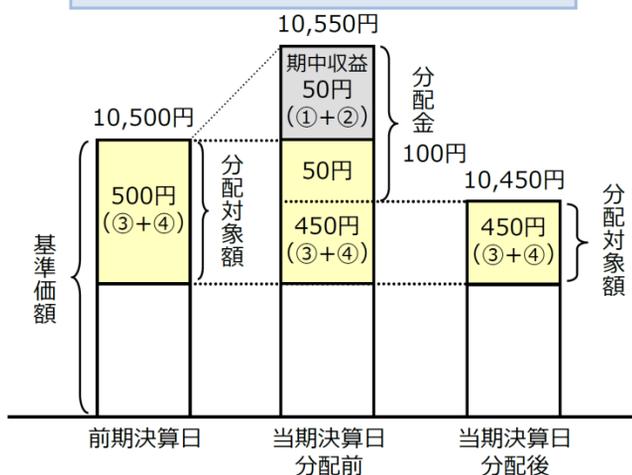
- ・ 計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配対象額は、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。

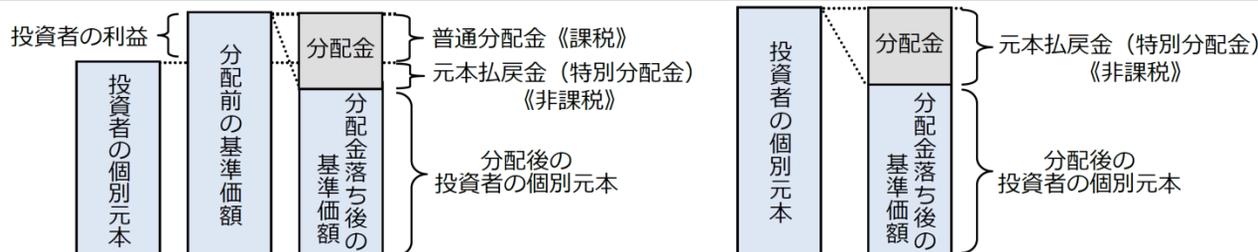
### 前期決算から基準価額が上昇した場合

### 前期決算から基準価額が下落した場合



- 投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

- ◇ 普通分配金 …… 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。
- ◇ 元本払戻金（特別分配金） …… 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となります。



※投資者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

【ファンドの特色】

- 「野村グローバルボンド投信(通貨選択型)」は、投資する外国投資信託における為替取引手法、分配頻度の異なる6つのコース(Aコース、Bコース、Cコース、Dコース、Eコース、Fコース)から構成されています。
- 高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目指します。
- 高利回り事業債(ハイ・イールド債)を含む世界の債券\*1および米ドル建ての企業向け貸付債権(バンクローン)を実質的な主要投資対象\*2とします。  
※1 国債、政府機関債、国際機関債、社債など、ハイ・イールド債のほか、新興国の政府、政府機関もしくは企業の発行する債券(現地通貨建てを含みます。)等を含みます。  
※2 「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 円建ての外国投資信託「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンド・グローバル・ボンド」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。  
・「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンド・グローバル・ボンド」には、為替取引手法の異なる3つのクラスがあります。

| 各コース                       | 各コースが投資対象とする外国投資信託の為替取引手法  |
|----------------------------|--|
| Aコース、Cコース<br>(米ドル売り円買い)    | 実質的な通貨配分にかかわらず、原則として純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行ないます。したがって、保有する実質的な外貨建資産について対円で為替ヘッジを行なうことを目的としていません。 |
| Bコース、Dコース<br>(為替ヘッジなし)     | 組入資産について、原則として対円で為替ヘッジを行ないません。   |
| Eコース、Fコース<br>(米ドル売り選定通貨買い) | 実質的な通貨配分にかかわらず、原則として純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドルを売り、選定通貨*(米ドルを除く)を買う為替取引を行ないます。                                   |

※選定通貨は、投資対象とする外国投資信託の投資顧問会社が選定した通貨を指します。  
詳細は、交付目論見書の「各コースが投資対象とする外国投資信託の概要」の投資方針をご覧ください。

- ◆通常の場合においては、「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンド・グローバル・ボンド」への投資を中心とします\*が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。  
※通常の場合においては、「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンド・グローバル・ボンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。

■外国投資信託「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンド・グローバル・ボンド」の主な投資方針について■

・ハイ・イールド債\*1を含む世界の債券および米ドル建てのバンクローン\*2を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目指します。

※1 ハイ・イールド債とは、スタンダード・アンド・プアーズ社による格付がBB+以下、あるいはムーディーズ・インベスターズ社による格付がBa1以下の債券(格付のない場合は同等の信用度を有すると判断されるものを含みます。)をいいます。

※2 バンクローンとは、事業会社等が事業の拡大等に必要資金を調達するために、銀行等の金融機関等から借入れるローンをいいます。

・投資にあたっては、3つの投資戦略(「ハイ・イールド債戦略」、「バンクローン戦略」、「ストラテジック・インカム/トータル・リターン戦略」)に配分します。

なお、1投資戦略あたりの配分比率は、原則として、純資産総額の25%以上50%以内に維持することを基本とします。

| 投資戦略                         | 主な投資方針  |
|------------------------------|---|
| ハイ・イールド債戦略                   | 世界のハイ・イールド債を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目指します。            |
| バンクローン戦略                     | 米ドル建てのバンクローンを主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目指します。           |
| ストラテジック・インカム<br>/トータル・リターン戦略 | ハイ・イールド債を含む世界の債券を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインとキャピタルゲインの獲得によるトータル・リターンの追求を目指します。 |

・バンクローンへの投資にあたっては、主として、変動金利型で、債券等に比べ弁済順位が高く、取得時においてスタンダード・アンド・プアーズ社による格付がBB+以下、あるいはムーディーズ・インベスターズ社による格付がBa1以下のもの(格付のない場合は同等の信用度を有すると判断されるものを含みます。)に投資を行ないます。

・投資顧問会社が、世界の債券および米ドル建てのバンクローンの運用を行なう副投資顧問会社の選定と、各副投資顧問会社が運用する信託財産の配分比率を決定します。  
・副投資顧問会社の選定にあたっては、運用体制や運用プロセスなどに対する独自の定性評価を重視し、各投資戦略の運用において優れていると判断した運用会社を選定します。

・投資顧問会社は選定した副投資顧問会社およびファンド全体のリスク特性の状況を絶えずモニターし、必要に応じて各副投資顧問会社が運用する信託財産の配分比率の変更や副投資顧問会社の入替を適宜行ないます。

\*投資顧問会社は、副投資顧問会社の選定および信託財産の配分比率決定にあたり、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー株式会社より助言を受けます。

| 投資戦略                                      | 副投資顧問会社   | 運用の再委託先 |
|---|---|---------|
| ハイ・イールド債戦略                                | ・Aegon USA Investment Management, LLC                                       | —       |
|   | ・Nomura Corporate Research and Asset Management Inc.                        | —       |
| バンクローン戦略                                  | ・Symphony Asset Management LLC  | —       |
|   | ・Guggenheim Partners Investment Management, LLC                             | —       |
| ストラテジック・インカム<br>/トータル・リターン戦略              | ・Amundi Singapore Limited   | —       |
|   | ・Amundi Asset Management London Branch                                      | —       |
|   | ・Goldman Sachs Asset Management LP  | —       |
|   | ・Goldman Sachs Asset Management International                               |         |
|   | ・ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社  |         |
| ・Goldman Sachs (Singapore) Pte            | —   |         |
| ・Neuberger Berman Investment Advisers LLC | ・Neuberger Berman Europe Limited<br>・Neuberger Berman Singapore Pte Limited |         |

・出所: 投資顧問会社(野村アセットマネジメント)作成

・上記の各副投資顧問会社は、平成28年10月31日現在のものであり、投資顧問会社の投資判断その他の理由により、適宜増減および入替が行なわれる可能性があります。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前ののものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

- 各コースはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
- 「野村グローバルボンド投信(通貨選択型)」を構成する「年2回決算型」のファンド間および「毎月分配型」のファンド間でスイッチングができます。
- 分配の方針

◆年2回決算型(Aコース、Bコース、Eコース)

原則、毎年2月および8月の6日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。  
分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

◆毎月分配型(Cコース、Dコース、Fコース)

原則、毎月6日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。  
分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として、利子・配当等収益等を中心に分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合があります。なお、市況動向や基準価額水準等によっては、分配金額が大きく変動する場合があります。

\* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

【投資リスク】

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、債券およびバンクローン等に実質的に投資する効果を有しますので、金利変動等による当該債券およびバンクローンの価格下落や、当該債券およびバンクローンの発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 平成36年8月6日まで(平成26年8月11日設定)
- 決算日および収益分配 【年2回決算型】(Aコース、Bコース、Eコース) 年2回の決算時(原則、2月および8月の6日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。  
【毎月分配型】(Cコース、Dコース、Fコース) 年12回の決算時(原則、毎月6日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位(当初元本1口=1円) または1万円以上1円単位  
(ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。)  
※お取扱コース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 「年2回決算型」(Aコース、Bコース、Eコース)のファンド間および「毎月分配型」(Cコース、Dコース、Fコース)のファンド間でスイッチングが可能です。  
※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が下記のいずれかの休業日に該当する場合または12月24日である場合には、原則、ご購入・ご換金、スイッチングの各お申込みができません。  
・ニューヨーク証券取引所 ・ニューヨークの銀行  
・ロンドン証券取引所 ・ロンドンの銀行  
・ルクセンブルクの銀行
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2016年12月現在)

|                          |  |
|--------------------------|--|
| ◆ご購入時手数料                 | ご購入価額に3.24%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額<br><スイッチング時><br>販売会社が独自に定める率を乗じて得た額<br>*詳しくは販売会社にご確認ください。  |
| ◆運用管理費用(信託報酬)            | ファンドの純資産総額に年1.08%(税抜年1.00%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。<br>○実質的にご負担いただく信託報酬率 <sup>(注12)</sup><br>・A、B、C、Dコース:1000億円以下の部分 年1.96%程度(税込)<br>1000億円超の部分 年1.91%程度(税込)<br>・E、Fコース:1000億円以下の部分 年2.11%程度(税込)<br>1000億円超の部分 年2.06%程度(税込)<br>(注1)ファンドが投資対象とする外国投資信託の全クラスの合計の純資産総額に応じた率となります。<br>(注2)ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。 |
| ◆その他の費用・手数料              | 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。<br>※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。  |
| ◆信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む) | 1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額   |

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。  
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◆お申込みは

野村証券

商号:野村証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号  
加入協会:日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/  
一般社団法人金融先物取引業協会/一般社団法人第二種金融商品取引業協会

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会:一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先:野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ ☎ 0120-753104

(受付時間)営業日の午前9時~午後5時



★インターネットホームページ★

http://www.nomura-am.co.jp/



★携帯サイト★

http://www.nomura-am.co.jp/mobile/

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものとあり、事前の連絡なしに変更される場合があります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。